

# 残留農薬検査(平成26年度 その4)

当所では、横浜市内に流通する農産物等の食品に残留する農薬の検査を行っています。平成25年度に検査項目の見直しを行い、農産物ごとに検査項目を設定しました。

今回は、平成27年1月から3月までに食品専門監視班、各区福祉保健センター及び南部市場食品衛生検査所より搬入された農産物等の検査結果を報告します。

## 1 市内産農産物

1月に搬入されたこまつな、だいこんの根、はくさい(各2検体)、にんじん及びブロッコリー(各1検体)の計8検体について検査を行いました。これらの結果を表1に示しました。

その結果、こまつなからテフルトリンが0.01ppm、にんじんからダイアジノンが0.02ppm検出されました。しかし、残留農薬の基準値を超えるものはありませんでした。検査項目及び検出限界については表2に示しました。

## 2 国内産農産物

1月に搬入されたいちご、しゅんぎく(各2検体)、かぶの根、カリフラワー、ケール、不知火(柑橘類)、だいこんの根、プチヴェール(非結球メキャベツ)及びみかん(各1検体)の計11検体について検査を行いました。これらの結果を表1に示しました。

その結果、プチヴェールからクロルフェナピルが0.02ppm検出されましたが、残留農薬の基準値を超えるものはありませんでした。検査項目及び検出限界については表2に示しました。

## 3 輸入農産物

1月に搬入されたオクラ、さといも、しいたけ、にんじん及びパプリカ(各1検体)の計5検体について検査を行いました。これらの結果を表1に示しました。

その結果、オクラからペルメトリンが0.03ppm、パプリカからイミダクロプリドが0.06ppm検出されました。しかし、残留農薬の基準値を超えるものはありませんでした。検査項目及び検出限界については表2に示しました。

今回の検査で検出された農薬の概要については、14ページの【農薬解説】を参考にしてください。

表1 残留農薬検査結果

(H27年1月～H27年3月)

農産物	産地	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
<b>市内産農産物</b>						
こまつな	横浜市	2	1	テフルトリン	0.01	0.5
だいこんの根	横浜市	2	0			
にんじん	横浜市	1	1	ダイアジノン	0.02	0.5
はくさい	横浜市	2	0			
ブロッコリー	横浜市	1	0			
<b>国内産農産物</b>						
いちご	茨城県	2	0			
かぶの根	青森県	1	0			
カリフラワー	熊本県	1	0			
ケール	静岡県	1	0			
しゅんぎく	佐賀県	1	0			
	京都府	1	0			
不知火	熊本県	1	0			
だいこんの根	神奈川県	1	0			
プチヴェール	静岡県	1	1	クロルフェナピル	0.02	10
みかん	熊本県	1	0			

表1 残留農薬検査結果(続き)

農産物	産地	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
輸入農産物						
オクラ	フィリピン	1	1	ペルメトリン	0.03	3.0
さといも	中国	1	0			
しいたけ	中国	1	0			
にんじん	中国	1	0			
パプリカ	ニュージーランド	1	1	イミダクロプリド	0.06	3

表2 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出 限界 (ppm)	A*1 B*1 C*1 D*1 E*1					農薬名	検出 限界 (ppm)	A B C D E				
		A*1	B*1	C*1	D*1	E*1			A	B	C	D	E
BHC(α,β,γ及びδの和)	0.005	○*2	-*2	-	-	-	シアノホス	0.01	○	○	○	○	○
DDT*3	0.005	○	○	○	○	-	ジウロン	0.01	○	○	○	-	-
EPN	0.01	○	○	○	○	○	ジオキサベンゾホス	0.01	○	○	○	○	○
アクリナトリン	0.01	○	○	○	○	-	ジクロフェンチオン	0.01	○	○	○	○	○
アザメチホス	0.01	○	○	○	○	-	ジコホール	0.01	○	○	○	○	-
アジンホスメチル	0.01	-	-	-	○	-	シハロトリン	0.01	○	○	○	○	-
アセタミプリド	0.01	○	○	○	○	-	ジフェノコナゾール	0.01	○	○	-	○	-
アゾキシストロビン	0.01	○	○	○	○	-	シフルトリン	0.01	-	○	○	○	-
アニコホス	0.01	○	○	○	-	-	シフルフェナミド	0.01	○	○	-	○	-
イプロバリカルブ	0.01	○	○	○	○	-	シペルメトリン	0.01	-	○	○	○	-
イプロベンホス	0.01	○	○	○	○	○	ジメチリモール	0.01	-	-	○	○	-
イミダクロプリド	0.01	○	○	○	○	-	ジメトモルフ	0.01	○	○	○	-	-
インダノファン	0.01	○	○	○	-	-	スルプロホス	0.01	○	○	○	○	○
インドキサカルブ	0.01	○	○	○	○	-	ダイアジノン	0.01	○	○	○	○	○
エチオン	0.01	○	○	○	○	○	ダイムロン	0.01	○	○	○	○	-
エトプロホス	0.005	○	○	○	○	○	チアクロプリド	0.01	○	○	○	○	-
エトリムホス	0.01	○	○	○	○	○	チアメキサム	0.01	○	-	○	○	-
エポキシコナゾール	0.01	-	-	○	-	-	テトラクロルビンホス	0.01	○	○	○	○	-
エンドスルファン(α及びβの和)	0.005	-	○	-	-	-	テトラジホン	0.01	○	○	○	-	-
エンドリン	0.005	-	○	-	○	-	テブチウロン	0.01	○	○	○	-	-
オキサミル	0.01	○	○	○	○	-	テブフェノジド	0.01	○	○	○	○	-
オキシカルボキシ	0.01	○	○	○	○	-	テフルトリン	0.01	○	○	○	○	-
オリザリン	0.01	-	○	○	○	-	トラルコキシジム	0.01	○	○	○	○	-
カズサホス	0.01	○	○	○	○	○	トリチコナゾール	0.01	○	○	○	-	-
カフェンストール	0.01	○	○	○	○	-	トリフルムロン	0.01	○	○	○	○	-
カルバリル	0.01	○	○	○	○	-	トルクロホスメチル	0.01	○	○	○	○	○
カルプロバミド	0.01	○	○	○	-	-	ノバルロン	0.01	-	○	○	○	-
クミルロン	0.01	○	○	○	○	-	パラチオン	0.01	○	○	○	○	○
クロキントセト-メキシル	0.01	○	○	○	○	-	パラチオンメチル	0.01	○	○	○	○	○
クロチアニジン	0.01	○	○	○	-	-	ビフェントリン	0.01	○	○	○	○	-
クロマフェノジド	0.01	○	○	○	○	-	ピラクロストロビン	0.01	○	-	-	-	-
クロリダゾン	0.01	○	○	○	○	-	ピラゾリネート	0.01	-	-	○	○	-
クロルピリホス	0.01	○	○	○	○	○	ピリフタリド	0.01	○	○	○	○	-
クロルピリホスメチル	0.01	○	○	○	○	○	ピリミカーブ	0.01	○	○	○	○	-
クロルフェナピル	0.01	○	○	○	○	-	ピリミホスメチル	0.01	○	○	○	○	○
クロルフェンソン	0.01	○	○	○	○	-	ファモキサド	0.01	○	○	○	○	-
クロルフェンビンホス	0.01	○	○	○	○	○	フェニトロチオン	0.01	○	○	○	○	○
クロロクスロン	0.01	○	○	○	○	-	フェノキシカルブ	0.01	○	○	○	○	-
シアゾファミド	0.01	○	○	○	-	-	フェノブカルブ	0.01	○	○	○	○	-
シアノフェンホス	0.01	○	○	○	○	○	フェリムジン	0.01	○	-	-	-	-

表2 農薬の検査項目及び検出限界(続き)

農薬名	検出限界 (ppm)	A	B	C	D	E	農薬名	検出限界 (ppm)	A	B	C	D	E
フェンアミドン	0.01	○	○	○	-	-	ヘキサフルムロン	0.01	○	-	-	-	-
フェンクロルホス	0.01	○	○	○	○	○	ヘプタクロル(エポキシドを含む)	0.005	○	-	-	-	-
フェンスルホチオン	0.01	○	○	○	○	○	ペルメトリン	0.01	○	○	○	○	-
フェントエート	0.01	○	○	○	○	○	ペンシクロン	0.01	○	○	○	○	-
フェントラザミド	0.01	○	○	○	-	-	ベンゾフェナップ	0.01	○	○	○	○	-
フェンバレレート	0.01	-	○	○	-	-	ベンダイオカルブ	0.01	○	○	○	○	-
フェンピロキシメート	0.01	-	○	○	○	-	ペントキサザン	0.01	○	-	-	-	-
フェンプロパトリン	0.01	-	○	○	○	-	ボスカリド	0.01	○	○	-	○	-
ブタフェナシル	0.01	○	○	○	○	-	ホスチアゼート	0.01	○	○	○	-	-
ブタミホス	0.01	○	○	○	○	○	マラチオン	0.01	○	○	○	○	○
フラメピル	0.01	○	○	○	-	-	メタベンズチアズロン	0.01	○	○	○	○	-
フルシトリネート	0.01	-	○	○	-	-	メキシフェノジド	0.01	○	○	○	○	-
フルバリネート	0.01	-	○	○	○	-	メビンホス	0.01	○	○	○	○	○
フルフェナセット	0.01	○	○	○	-	-	モノリニュロン	0.01	○	○	○	-	-
フルフェノクスロン	0.01	○	○	○	○	-	ラクトフェン	0.01	○	○	-	○	-
フルリドン	0.01	○	○	○	○	-	リニュロン	0.01	○	○	○	○	-
プロシミドン	0.01	○	○	○	○	-	リンデン( $\gamma$ -BHC)	0.002	○	○	○	-	-
プロチオホス	0.01	○	○	○	○	○	ルフエヌロン	0.01	-	○	○	○	-
プロピザミド	0.01	-	○	○	○	-							

\*1 A:オクラ、ケール、こまつな、しゅんぎく、にんじん、パプリカ、プチヴェール、ブロッコリー  
 B:かぶの根、カリフラワー、だいこんの根、はくさい C:さといも D:いちご、不知火、みかん E:しいたけ

\*2 ○:実施、-:実施せず

\*3 DDTは $p,p'$ -DDE、 $p,p'$ -DDD、 $o,p'$ -DDT及び $p,p'$ -DDTの和

### 【農薬解説】

#### ○イミダクロプリド

『アドマイヤー』などの商品名で販売されている殺虫剤です。特にハモグリガ類に効果があり、従来の殺虫剤に抵抗性のある害虫に対しても効果があります。

平成26年度に実施した検査において、こまつな(市内産)やほうれんそう(国内産)、かぼちゃ(メキシコ産)からも検出されました。

#### ○クロルフェナピル

『コテツ』などの商品名で販売されている殺虫剤です。多くの野菜に適用があり、従来の殺虫剤に耐性がある害虫に対しても効果があります。

平成26年度に実施した検査において、だいこんの根やだいこんの葉、なす(市内産)、トマト(国内産)からも検出されました。

#### ○ダイアジノン

『ダイアジノン』などの商品名で販売されている殺虫剤で、広範囲の害虫に効果があります。残効期間は短いとされています。

#### ○ペルメトリン

『アディオン』などの商品名で販売されている殺虫剤です。茶、果樹、野菜などの主要害虫の防除に使用されます。

### ※参考文献

・社団法人日本植物防疫協会、農薬ハンドブック2011年版